



志津南

11月号 news

志津南ホームページ
http://shizu373.net

志津南学区の人口 (9/30 現在)
世帯数 2,487 総人口 6,631 人

発行
志津南学区まちづくり協議会
Tel(fax) 077-563-6206
E-mail shizuminamimachi@gmail.com

活気戻るまちづくりセンター 引き続き感染症対策に留意を

賑わいが戻った様子のわかる玄関靴箱



新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館

緊急事態期間が延長されています。

していった志津南まちづくりセンターが10月1日、再開しました。
8月当初に国から発令された「まん延防止等重点措置」の対応に引き続き、感染拡大により滋賀県が「緊急事態宣言」の対象地域に追加され、更に9月30日まで

緊急事態期間中は、市の公共施設は原則休館または利用を休止ということで、各地域まちづくりセンターも臨時休館となりました。地域におけるイベントや会議についても、感染リスクを避けるため、中止や延期、リモートや書面でのやり取りに切り替えていただくよう、協力をお願いしました。取り組みへのご理解とご協力のおかげで、市内の新規感染者は減少傾向にありますが、完全に収束して

らず、再び感染症が拡大する恐れも指摘されています。マスクの着用、検温、手指の消毒、密閉・密集・密接の回避等、基本的な感染

備えあれば憂いなし



近年、AEDが必要な事故や病気が増加し、AEDで命が助かった例も少なくない事から、以前より導入が検討されていました。特に追分南町内会館では、高齢者の百歳体操やサロン活動が行われており、万が一の事が心配されています。また、各組の総会や会議も多岐にわたるため、緊急時の備えとして、今回設置が実現しました。

追分南町内会(高田篤司会長)は、追分南町内会館にAEDを設置しました。

追分南町内会(高田篤司会長)は、追分南町内会館にAEDを設置しました。



に注意

スズメバチの活動が活発で、10月13日から若草東公園が当面使用禁止になりました。
東公園、くるみこども園、中央公園などでも確認されています。樹液を吸いに飛んで来ているらしく、巢の駆除などの効果的な方法が使えません。決して近づかないようにしてください。



駆除されたハチ

クリーンセンター ゴミの持ち込み予約制に

10月1日から、草津市クリーンセンターへのゴミの直接持ち込みに事前申請が必要になっています。平成30年の新クリーンセンター供用開始以降、ごみの持ち込み量が約3倍に増えており、大変長い待ち時間や処理施設の逼迫など、課題が多かったためです。

①日時を定める。(1日に1家族1回のみ)
②電話もしくはインターネットで事前申請。
電話(516)4030
平日8時30分~17時15分
https://s-kantan.com/kankyo-kusatsu/
予約は30日前から、平日2営業日(電話)、平日3営業日前まで(ネット)受付。
③クリーンセンターに持ち込み。(本人確認書類、草津市在住確認書類、申請時の



発行番号が必要

④ゴミ処理手数料支払い。
なお、産業廃棄物や危険性・爆発性のあるもの、リサイクル対象品などは持ち込みができません。また処理施設の関係で、量は1日10枚までなど、搬入量が制限されるものもあります。持ち込む際は、分別をし



ファミマ交差点 念願のガードレール設置



ガードレールに守られ登校する児童たち

10月4日、かがやき通り沿いのファミリーマート付近交差点歩道に、草津市によってガードレールが設置されました。

大津市の交差点で信号待ち園児の列に車が突っ込み、尊い命が奪われた過去の事故を教訓に、追分南町内会(高田篤司会長)はかねてから、安全対策としてガードレール設置を草津市に要望していました。

志津南小学校児童の通学路として信号待ちの場所でもある同所は、登下校時には子ども達であふれ、いつ事故が起きてもおかしくない状態でした。保護者の方々から、ガードレールの設置で安心して登下校できるようになると喜びの声が届いています。

地域に守られ元気に登下校

期間中、子ども達を見守ったSOSのぼり旗



台、通路沿いの協賛店舗・施設を訪ねば、店舗からの連絡を受け

た学校の教職員が現場に急行し、保護者と連携して無事に帰宅できるようにするものです。志津南学区まちづくり協議会・志津南小学校PTAと協働で、7月12日から実施していました。

今年度は昨年度より協力店舗・施設が16箇所に増え

より広い範囲で子どもたちを見守る体制ができました。また8月下旬に緊急事態宣言が発令され、二学期当初から昼すぎに下校する事態になったため、適時の安全対策となりました。

各施設・店舗では、目印の青いのぼり旗をできるだけ子どもたちに見えやすい位置に立ててくださいました。中には、独自のポスターを作って店頭に掲示してくださいいただいたこともあり、応援していただいたことに感謝しています。

またいくつかの施設では、実際に体調を崩した子どもたちがお世話になりました。

このプロジェクトは、猛暑や炎天下での下校中、子どもが体調不良で困った場合

78人増え、1054人となり、初めて1000人を超え過去最高でした。

例年開催してきた学区統一敬老会は、新型コロナウイルス感染症の影響で、社会福祉部会での採択を経て中止、昨年同様記念品配布のみの方針で行いました。

敬老会開催は中止

志津南学区社会福祉協議会(松崎大次郎会長)は敬老の日に合わせて9月19・20日に、70歳以上の高齢者にお祝い記念品を届けました。今年の対象者は昨年より

社会福祉委員、民生委員、福祉委員、福祉協力が対象者宅を訪問して記念品を渡しました。皆が集まる敬老会はできませんでしたが、対面で一人ひとりの近況や健康状態を確認できたことは良かったと思います。

高齢者の皆様には今後も



いつまでもお健やかに

9月20日は「敬老の日」。お年寄りを敬愛し、長寿を祝う日ですが、このところのコロナ禍で、多人数が集まるイベント実施は難しいものがあり、今年もそと、気持ちを届けました。



記念品を受け取るご夫妻

どの施設でも子どもたちを温かく迎え入れ、すぐに学校に連絡してくださったおかげで、どの子も安心して帰宅できました。プロジェクト成功の何よりの証です。

今後も、学校・地域・家庭のつながりを基盤に、志津南の子どもたちが元気に通学できる日々を大切にしていきたいです。

笑顔の敬老訪問



志津南学区民生委員児童委員協議会は敬老の日をむかえ、70歳以上の高齢者のお宅に「令和3年度 困った時の電話帳」を配りました。

訪問先では、短時間ではありましたが日常のことや、コロナ禍が変わってしまった生活のことなど様々なお話を伺い「この辛抱もきつとあと少しですよ。お互いに頑張りましょうね」と励まし合って、訪問を終えま

いただいた各方面の協力者の方々には大変お世話になりました。改めてお礼を申し上げます。

(福祉部会部長 小見山仁)

また、市の委託を受けて長寿祝金も届けました。志津南学区では、88歳の方が18人、99歳の方が1人、101歳の方が1人でした。「あら、私にいただけるの?嬉しいわね」「いつもご

敬意と祝意込めて



追分町内会「元氣くらぶ」では9月22日、後期高齢者にあたる方々に、敬意と敬



志津南文庫



「秋の夜長」とは、文字通り日が落ちる時間が早く、夜が四季の中で一番長いということ。コロナや暑さで気分も下がりが気味でしたが、過ごしやすいい今、ぜひ読書を満喫してください。

今回は旅の本や時代小説、楽しくて頑張る気持ちが出てくる本、子供向けの本が並んでいます。

マスク入れに挑戦



かがやきの丘地域サロン「なごみ会」は10月7日、町内会館「きらり」で、講師として市社協の山本範子さんを招き「マスク入れ作り」に挑戦しました。材料はクリアケース。定規で長さを測り、線を引き、ハサミで切断、折り目をつけ両面テープで貼り付け、最後にフックをつけて完成。60分以上の難作業でしたが、疲れもなんのその。達成感に満ちた笑顔があふれました。

老の祝意を込めて記念品を贈呈しました。突然のプレゼントに参加者の皆さんは大喜びでした。

「元氣くらぶ」ではコロナ禍でもいきいき百歳体操だけは注意を払いながら実施してきました。が、参加者も徐々に減り寂しくなる中、90歳を超える方を始めこれら後期高齢者の方々が積極的に参加され何とか維持しています。

一斉清掃中止で自主清掃に



志津南環境美化ボランティアの会(舟木要一代表)が10月16日、若草五丁目の自主清掃に協力し、若草中央公園の清掃を行いました。写真。

「秋の町内一斉清掃」は本来10月17日に実施予定でしたが、緊急事態宣言下、多くの住民参加による作業は避けるべきとの判断で、前回同様「町内別自主清掃」に変更されました。ただ自主清掃は、町内によっては参加者が多くは見込めないなどの事情もあり、同会が各町内会に協力しています。

先だって5日には、総勢34人がかがやき通りの若草交差点(スター前)から青山区との境界間の除草・

低木の剪定作業も実施しました。今夏は雨の日が多く、草木の成長が著しく、通行にも支障をきたす状況となっていたため、同会とかががやき通り清掃担当町内の有志による作業となりました。かがやき通りは年々車の

通行量が増え、草刈り機を使用した作業は事故防止の面から難しく、手作業で実施しました。10月なのに30℃近い真夏日でかなりの重労働でしたが、皆の協力で「安全安心できれいな通り」になりました。

日常忘れ、歴史を歩く



蓮華寺で、講師の説明に耳を傾ける参加者

志津南まちづくりセンターでは9月29日、教養文化講座「史跡探訪」を開催し、受講生17人が参加しました。

3回シリーズ2回目今回は、米原市の番場宿から東進、醒ヶ井宿、柏原宿から近江と美濃の国境を越え、今須塾までバスで巡りました。

私には、スラックスを選ぶ子はいるの?と懐疑的にとらえていたのですが、寒い冬には履いている子が割といるとのこと。時代だなぁと思っていたのですが、実際に履いている子たちを見ると、パンツスーツのよう

「秋の町内一斉清掃」は本来10月17日に実施予定でしたが、緊急事態宣言下、多くの住民参加による作業は避けるべきとの判断で、前回同様「町内別自主清掃」に変更されました。ただ自主清掃は、町内によっては参加者が多くは見込めないなどの事情もあり、同会が各町内会に協力しています。



男子の子 女の子の子

男の子は黒、女の子は赤。昔のランドセルはこれよくありません。このように、世の中の流れと同様に、男女差は子どもたちの世界でもどんどん減っています。そのような変化は制服でも起こっています。女子の制服がセーラー服の高穂中学では導入されていないのですが、制服がブレザーの高校では、スラックスも選

それに加え、数年前までは入学式の日には教室で配られていた小学生の黄色の帽子も配布が中止され、男女関係なくキャップ型かハット型のどちらを選択しても

そっか、私の頭が固かったのか。子どもたちの垣根のなさや柔軟さを見習わねばと思う今日この頃です。(なっちゃん)

草津市警察署と志津南学区まちづくりセンターが9月22日、65歳以上を対象とするオブジェ講習を実施しました。学区社協の送迎支援ボランティア運転担当4人、地域の菖蒲の郷の2人、計6人が参加しました。

9月21日、30日の10日間実施された令和3年秋の全国交通安全運動への取り組みの一環で、草津市警察・滋賀県警察本部3人の方に指導していただきました。オブジェ講習とは、滋賀県警察本部が取り組む運転技能自動評価システムです。車・頭・足に取り付けたセンサーをGPSで計測、データをパソコンが処理して、



秋の交通安全運動 右見て、左見て

草津栗東交通安全協会志津南支部(素野多加美支部長)は、秋の交通安全運動として、緑波くるみこども園の玄関先で、代表園児に啓発品を渡しました。写真。例年この時期に、アヤハ自動車教習所のご支援をいただいで、園児に交差点の横断歩道の安全な渡り方などの講習を行っています。コロナ禍の中、昨年に続いて、本年も実施できませんでした。

センサーで運転技能診断



頭にセンサーを付けて診断に臨む参加者

運転手のクセなどを客観的に診断してくれます。約50分の診断コースを、実際に使用している福祉送迎車「ふくちゃん号」で行いました。2人ペアで同乗するところ、コロナ禍の関係で交代で30分運転、2人一緒に警察の方からの説明とアドバイスを30分間いただきました。

今回、左右確認を頭のセンサーが判断しましたが、目ではしっかり確認したのにと、今後のシステム改善への要望もありました。評価の詳細は人により異なりますが、送迎の4人は5段階評価の標準の方が3人、標準以上の方が1人という結果で終了することができました。これからも送迎を利用いただく皆様に安心していただけるよう、安全運転に取り組んでいきたいと思っております。(高岡 昭義)

れて散歩を楽しみました。柏原宿では、「もぐさ屋」が軒を並べてにぎわった面影がある街道筋を歩き、「柏原宿歴史館」に入りました。受講生は江戸期の資料を

見ながら資料館館長の説明を熱心に聞いていました。歴史館の2階には、「福を招く」といわれる「福助さん」がたくさん並んでいました。最後は、岐阜県に入り今

須宿の街道筋をバスで走りました。緊急事態宣言の影響で、一度延期になった「史跡探訪」でしたが、今回はコロナ対策を徹底して開催しました。

おしゃレに楽しむお家ライフ

色づくりから取り組む受講者たち



況の中、少しでも何か楽しみを見出せないものか、気持ちをアップできないかと、全4回の「ものづくり講座」を開催することにしました。

ものに、アロマオイルを染み込ませて香りを楽しむアイテムです。インテリアとしてもおしゃレで、オイルを数滴たらずだけで、火や電気を使わず安心して楽しむことができます。
絵具で色を作り、石膏を混ぜ合わせ、固まったらラインストーンやスパンコーンで装飾をし、お好みのアロマオイルで香り付けして、大小3つのアロマストーンを完成させました。

色づくりや型取りと、たぐさんの工程に苦戦しつつも楽しみながら、それぞれオリジナルのすてきな作品が仕上がりました。
最後には皆で互いの作品を鑑賞しながら、写真撮影をしました。
後日、受講生から「良い香りなので、早速寝室に置いています」などの声を聞くことができました。今後の講座も和気あいあいと進めていければと思います。

パソコンの駅
▽パソコンについての相談
▽11月25日(木)
12月24日(金)
13時~16時
▽センターサロン
地域内困りごと相談窓口を兼ねています。

資源回収
□毎月第1・3日曜日
★若草1~5丁目町内会
□毎月第2・4日曜日
★若草6~8丁目町内会
岡本町西町内会
□毎月第2・4土曜日

★かがやきの丘町内会
□毎月第1・3土曜日
★フォレストトロース子供会
□毎月第2日曜日
★向山子供会
※回収品は古新聞・古雑誌・段ボール・ウエス

ものづくり講座「お家ライフをオシャレに楽しむ」が10月5日、志津南まちづくりセンターで開催され、9人が参加しました。
コロナウイルスの影響で、なかなか外出もできない状況

「作って楽しい&置いて楽しむ」をコンセプトに、かわいくおしゃレなものづくりに挑戦します。1回目のこの日は「アロマストーン」を作りました。アロマストーンとは、素焼きの陶器や石膏で作られた

あーっ？おもしろい



Sさんの畑で採れたハート形ナス。食べてみたら、チップリ愛の味がしたとか、しなかったとか…。

参加者募集

志津南学区健康推進員連絡協議会(横山民子代表)は、次の要領で秋の「健康ウォーキング」を実施します。
▽日時 11月27日(土)
9時~12時
▽集合 志津南まちづくりセンター9時
▽行き先 びわこ文化公園
▽参加費 100円
(保険代他)
▽申込先 志津南まちづくりセンター
電話(5063)62006
▽締め切り 11月20日(土)
▽持ち物 飲み物・汗拭きタオル等。マスク着用のこと。
▽帰着時におにぎりをお渡しします。

年賀状作りませんか

志津南まちづくりセンターは次の要領で「年賀状作成講座」を開催します。
▽日時 12月7日(火)
9時~12時
▽内容 ワードを使って年賀状の通信面を作ります(宛名面ではありません)

近江の菊を食す



収穫期を迎えた食用菊

今では大津の伝統野菜にも指定されている坂本菊の「種」を守るため、NPOなどの取り組みが行われています。西教寺では地元坂本菊のフルコース「菊御膳」の提供もありますので、紅葉の季節、是非一度味わってみては如何でしょうか？
(野津 隆)

私に住む大津市坂本は比叡山麓にある「寺の街」です。比叡山延暦寺の社務所を含め関係の寺(里坊)が多くあります。毎年紅葉の時期や桜の時期にはライトアップされ、観光客が多い地域です。が、意外と知られていないのが食用菊のふるさどであることではないでしょうか。
食用菊は和食の素材として知られます。酢の物にしたり、みそ汁の具にしたりで、山形産の食用菊「もつてのほか」などがおなじみかもしれません。また、お刺身の飾り野菜としても黄色の菊花があらわれます。菊の花弁を食する習慣は、

今年も菊の花を愛でる季節となりました。
私に住む大津市坂本は比叡山麓にある「寺の街」です。比叡山延暦寺の社務所を含め関係の寺(里坊)が多くあります。毎年紅葉の時期や桜の時期にはライトアップされ、観光客が多い地域です。が、意外と知られていないのが食用菊のふるさどであることではないでしょうか。
食用菊は和食の素材として知られます。酢の物にしたり、みそ汁の具にしたりで、山形産の食用菊「もつてのほか」などがおなじみかもしれません。また、お刺身の飾り野菜としても黄色の菊花があらわれます。菊の花弁を食する習慣は、

頃からあったようで、平安時代の記録である延喜式にも、近江から黄色の菊花が朝廷に献上されたと記されています。
奈良時代から平安時代にかけて、多くの僧が中国と日本を行き来しており、茶